

■第 I 部 巨大市場圏としての EU と北米経済圏

《シンポジウム「EU に対する多面的考察」》

コーディネーター：鷲江 義勝（法学部教授）

司会：定刻になりましたので、午後のシンポジウム「EU に対する多面的考察」を始めたいと思います。

本日は、久留米大学の児玉先生、早稲田大学の福田先生、同志社大学の和田先生、森田先生、高杉先生、瀬領先生にお越しいただいて、それぞれ政治学、経済学、法律学の分野から EU の最新の動向についての分析をご報告頂きたいと思います。内容的にはそれぞれご専門の分野から EU を分析し、その現状や課題を浮き彫りにして頂きたいと思っております。

今日のシンポジウムのスケジュールとしましては、最初に政治学の立場からお 2 人の先生方に、経済学の立場から和田先生に、その後、法律学の立場から 3 人の先生方からのご報告を承りたいと思います。さらにその後、予定では 40 分ほど質疑応答の時間がありますので、このときにフロアの方々からいろいろご質問をいただきたいと思います。入り口に置いてあります質問用紙に、質問内容、ご所属、どなたに質問するかということをご記入いただき、休憩時間にこちらで回収させていただいて、各報告者の方にお配りしたいと思います。このシンポジウムでは特に討論者等は立てておりませんので、できるだけ多くの質問をいただいて、それを元にまた話を進めていきたいと思っておりますので、よろしくご協力ください。

それでは、まず児玉先生からご報告していただきます。よろしくお願いいたします。